受賞者≪株式会社カシックス≫

＜全国に先駆け CO2 削減分を日本国政府に無償譲渡。全社を挙げてエコ活動＞

・環境問題への高い取り組み意識のもと、初期(平成 10 年)に CNG 車を導入
・他社に先駆け業界初の排出権取引制度を利用して「カーボンオフセット車」を運行
・CO2 削減分を日本国政府の償却口座に無償譲渡して京都議定書の目標達成に貢献

１．環境問題への取組み

我が社は、京阪神に拠点を置いて２トン・４トン車を主体にして産業貨物の輸配送を行っています。本社は京都市ですから、「京都議定書」に関しては以前から関心を持っていました。何よりも「京都」の名を冠した「議定書」＝「我が国と世界との約束」ですから、微力ながら何らかの貢献をしたいと強く感じています。

時系列で申し上げますと、平成９年 12 月 11 日に京都議定書が決議されました。我が社においては平成 10 年からＣＮＧ車を順次導入しており、現在京都府下においては車両台数全 35 台中６台、全社では 73 台中 16 台（導入比率 22%）のＣＮＧ車を保有しております。

平成 14 年に ISO14001 を取得。トラックの燃費向上を数値目標化して継続的改善に取り組んできました。

２．カーボンオフセット車の導入

平成 20 年 12 月からは「カーボンオフセット車」を導入しました。カーボンオフセットとは、

発生した二酸化炭素の量を何らかの方法で相殺し、二酸化炭素の排出を実質ゼロに近づけようという方法です。我が社では、特定の４トン車の排出する CO2 を、平成 20 年 12 月から 21 年５月分として 12 トン、更に 21 年６月から 11 月分として９トン、合計 21 トンをインドのバイオマス発電の削減クレジットとして購入したうえで、日本国政府の償却口座に無償譲渡して京都議定書の目標達成に僅かですが貢献しました。

（↑ＣＯ2 の日本国政府への償却証明書）

３．その他環境に配慮した取組

その他、「エコドライブマイスター」による社員教育やデジタコの活用にも取り組んでいます。これら環境への取組を徹底するために社員手帳を作成・配布して、毎朝の朝礼時に環境意識の高揚に努めています。

また、改正省エネ法に準じた CO2 削減計画を作成し、CO2 の削減に取り組んでいます。

４．まとめ

我が社が現実に削減した CO2 の量は、現実問題としては国全体から見れば微々たるものでしょう。しかしながら、「一燈照隅、万燈照国」という言葉もございます。一人ひとり、一社一社の積み重ねこそが京都議定書の目標達成に繋がるものと信じて、今後も、「カーボンオフセット車」やＣＮＧ車の増車と継続的運行をはじめ、環境に優しい取組をコツコツと積み重ねてゆく所存です。